

# 1. 調査報告概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	1072400326
法人名	株式会社オギノ電子工業
事業所名	グループホームハーモニー
所在地 (電話番号)	群馬県甘楽郡下仁田町馬山2495-1 (電話) 0274-60-3041
評価機関名	はあとらんど
所在地	群馬県 前橋市 大友町2-29-5 コミューン100-1-B
訪問調査日	平成20年11月18日

## 【情報提供票より】( 20年11月11日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 7月 1日
ユニット数	1 ユニット
職員数	9 人
利用定員数計	9 人
常勤 5人, 非常勤 4人, 常勤換算 6.6人	

### (2) 建物概要

建物形態	併設 / <input checked="" type="radio"/> 単独	新築 / <input checked="" type="radio"/> 改築
建物構造	鉄骨 造り	階 ~ 1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円) <input type="radio"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) <input checked="" type="radio"/> 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

### (4) 利用者の概要

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	4 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 85 歳	最低 77 歳	最高 91 歳		

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	下仁田厚生病院 大沢クリニック ひらやなぎ歯科医院
---------	---------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

建物は日本建築で、見た目にもなじみがあり入りやすい感じである。玄関の外には日本庭園があり庭石が配置され、その周りを歩く事ができる。建物の中の共用空間は天井が高く、明り取りがあり明るく開放感がある。窓からの景色を通して四季が感じられる。書類に関しては整理されており、見やすい工夫がされている。利用者一人ひとりには身体状況に合わせて役割を持ってもらい、生きがいのある生活をしており、職員はそれを見守りながらそれとなく支援している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域密着型サービスとしての理念→職員と話し合い地域と共に笑顔あふれるグループホームとして理念を作り実践している。入浴を楽しむ事が出来る支援→利用者の希望を聞きながら行っている。災害対策→近隣の人に協力依頼を行って運営推進会議にも参加をしてもらっている。栄養摂取や水分(補給)確保の支援→食事・水分の摂取量を記録し、確保の支援がされている</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は職員と相談をし自己評価を作り上げている。また事業主にも確認を取っている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に一度開かれている。家族の代表者も参加しており、ホームからは状況報告等が行われている。外部評価も議題として取り上げられて運営に活かされている。民生委員より連絡網を作って欲しいとの意見があり、すぐに作成されている。また災害対策では近隣の災害時の協力依頼が実現されている。行政の参加は実現していないが働きかけを行っている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>管理者、職員は家族が意見を言い易い雰囲気を作り出来るだけ意見を聞き出す努力を行っている。会話も職員側から一方的に話すのではなく、聞く姿勢を持つようになっている。面会時には要望等何でも話して欲しいと声を掛けている。運営推進会議でも家族から意見を聞き運営に反映させたいと努力している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営者は地域で生まれ育った人でもあり地域との関係は築かれている。自治会には入っていないが地域の一員として認知されている。ホームでは散歩の時や買い物の時など挨拶を交わしたり、地域の行事には誘いを受けて参加している。地域にある保育園、小学校なども交流がすでに持たれている。</p>

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念	地域密着型としての新しい理念を管理者、職員ともに相談し作り上げている。		
		地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている			
2	2	○理念の共有と日々の取り組み	理念は職員室に掲げられており、常に意識しながら支援に活かしている。管理者、職員は地域との接触を多く持つように地域の行事や催ものへの参加など係わり合いを積極的に作っている。また保育園児が慰問に来てくれたり、地域の人ボランティアを受け入れ交流を持っている。		
		管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる			
3	5	○地域とのつきあい	隣組の人から行事の誘いなどがあり参加している。運営推進会議にも近隣の代表の人が参加しているので地域の行事等の連絡などはある。自治会には加入していないが事業所扱いとして連絡はしてもらっている。		
		事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用	管理者は評価の意義を理解している。今回の自己評価は管理者、職員で話し合い仕上げている。また事業主も確認をしている。評価が一つのものさしとして運営に活かされている。		
		運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる			
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議は2ヶ月に一度開催されている。行政にも参加を依頼しているが今のところ参加は実現していない。外部評価の結果も話し合いの議題として取り上げられサービスの向上に結びつけている。緊急時の依頼や民生委員の希望である連絡網の作成も実現している。		
		運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携	管理者は介護認定更新の手続き、施設の状況説明、運営推進会議依頼、グループホーム便りなどを持って行政に出掛け情報交換を行っている。		
		事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告	利用者の家族が面会に来た時に健康状態や最近の様子などの話をしている。また身体状況に変化があった時には電話ですぐに家族に連絡をしている。写真などは郵送で請求書と一緒に送っている。		
		事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている			
8	15	○運営に関する家族等意見の反映	管理者、職員は家族の気持ちを大切にしようとしている。会話でも報告を一時的にするのではなく、家族が意見など言い易いように気を配っている。意見は運営に反映させている。		
		家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
9	18	○職員の異動等による影響への配慮	異動は無かった。管理者は職員の異動は少ないほうが良いと思っている。利用者に対して異動があった場合には説明を行い不安を早く取り除くように努めている。また新しい職員に対してはコミュニケーションを大切にして信頼関係を築けるよう支援している。		
		運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている			
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み	研修の場所が遠方である事が多く、職員の研修参加は少なく、限られた役職の者の参加になっている。管理者から研修の情報提供はあるが休日開催が多いので、主に近隣での研修に参加している。	○	研修参加はホーム全体の質の向上につながるので、多くの職員が参加出来るような体制作りを検討して欲しい。
		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
11	20	○同業者との交流を通じた向上	地域密着型連絡協議会に加入しており、グループホーム大会や研修会(ブロック研修や防火管理者研修)に参加しているが一部の者に限られている。地域にグループホームが少ない事も交流が図りにくい実情がある。	○	職員の勤務体制の関係・研修会の開催場所(遠方)・同業者が近隣に少ない等の事情があると思うがネットワークづくりを工夫することで勉強会や情報交換の機会を作り、サービスの質の向上に反映させることを期待したい。
		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族に見学をしてもらい、納得してから利用に結びつけている。また事前に訪問して本人に会ってから利用する場合や体験入所して利用に結びつく場合もある。入所間もない時には家族に面会の回数を増やしてもらう等一人ひとりに合わせて工夫がされている。		
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者とコミュニケーションを多くとり生活の智慧などを教えてもらっている。野菜の処理の仕方、衣類のきれいなたたみ方、行事の意味など教えてもらい支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	管理者、職員は利用者との会話の中に出てきた思いを共有出来るよう話し合いをしている。利用者から出た要望があれば出来る事は対応している。		
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の意向などを職員はケアマネジャーに報告をし、ケアマネジャーは家族に確認して計画を作成している。ケアマネジャーの勤務の時に会議を開き計画を検討している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	随時の変更と3ヶ月の見直しを行っている。毎月のモニタリングにより管理者、ケアマネジャー、職員、家族が話し合い、現状に即した計画の見直しがされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援	病院への通院支援、個人の買い物支援など利用者の要望があれば行っている。		
		本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
、					
18	43	○かかりつけ医の受診支援	原則は今まで通りのかかりつけ医となっている。家族が受診に付き添えない場合など職員が代行支援している。		
		本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有	まだ事例が出てきていないが家族より希望が出された場合は前向きに家族の希望に添えるような支援を考えている。家族、医師、職員、看護師などで話し合いを持ち重度化に際した指針の作成を考えている。		
		重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している			
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底	事業主は職員の入職時に就業規則にプライバシーに対して職員の義務があることを説明している。管理者は申し送りの時などに利用者への言葉遣いや言葉の選び方などの教育をしている。		
		一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない			
21	52	○日々のその人らしい暮らし	利用者のペースに合わせた流れを大切にしている。夜の就寝時間も自由で6時から10時頃迄、テレビを観る等自分のペースで過ごしている。嗜好品も誕生会にはビール、納涼祭にはお酒が出されている。		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援	食事の準備から職員と利用者で行い、一緒にテーブルで食事を取っている。料理の下準備など一緒にすることにより食事の楽しさを味わえるように支援している。		
		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
23	57	○入浴を楽しむことができる支援	月・水・金と週に3日の入浴を支援していたこともあるが、現在は希望する方が少なく月曜日、金曜日の午前と午後となっている。体調により入浴が出来なかった人は清拭や更衣を行っている。	○	利用者の希望やタイミングに合わせていつでも入浴の出来る体制が出来ることを期待したい。
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している			
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援	利用者には役割があり、一日が張り合いを持って過ごせるよう支援している。お絞りたたみ、お絞り配り、配膳、下膳、掃除、拭き掃除、モップ賭け、庭の掃き掃除、プランターの水遣り、食器拭き、野菜の下ごしらえ、ドライブ、外出、お花見、納涼祭、作品展、紅葉狩り、カラオケ、ゲーム等の支援をしている。		
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている			
25	61	○日常的な外出支援	管理者は外出支援を積極的に行っている。天候にもよるが日常的に散歩、ドライブ、外出などを行っている。地域の行事があるときは出掛けている。		
		事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している			
26	66	○鍵をかけないケアの実践	職員が2人体制の時には施錠を行っているが3人体制の時は開錠している。職員は施錠が利用者への弊害があることを理解しており、開錠に向けて話し合いをしている。ベランダを利用して利用者にも外気を味わってもらおう支援などあわせて行っている。		
		運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			
27	71	○災害対策	災害対策は地域との協力が欠かせない。この事を今回運営推進会議の議題として話し合い、地域の協力体制が出来た。施設はマニュアルを作り定期的に避難訓練を行っている。		
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		○栄養摂取や水分確保の支援			
28	77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量などチェック票があり記録されている。また水分補給に対しても記録があり、栄養チェック、体重チェックなど行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
		○居心地のよい共用空間づくり			
29	81	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井の広い共用空間には明り取りがあり自然光が差し込んでやわらかい雰囲気が漂っている。テーブルや椅子、テレビ、ソファなどが配されているが開放的な感じである。季節の飾り付けや行事の写真なども展示されている。		
		○居心地よく過ごせる居室の配慮			
30	83	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	木製のベッドが施設の備え付けとなっているが、他は持ち込み自由となっていて、それぞれ使い馴れた物が持ち込まれている。鏡台、テレビ、箆筒、整理棚、ハンガー、手芸道具、ぬいぐるみ、化粧品、サイン入り色紙、写真、椅子など利用者一人ひとりの個性が表れている。		